Rotary 週報

ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度国際ロータリーのテーマ

No.01283 2020.9.28 第7例会

◆本日のプログラム

９月28日
月見夜間例会

◆次回のプログラム

10月５日
外部卓話
「岡山県の景況感について」
㈱帝国データバンク
岡山支店長
内野 順徳 氏（岡山南RC）

Rotary Opens Opportunities

◆理事･役員（2020.7～2021.6）

会長	平松 信	会計	西岡貞則	理事･プログラム	入江直人
副会長	相原利行	理事･職業奉仕	橘高正剛	理事･親睦活動	福元裕之
幹事	鈴木一生	理事･社会奉仕	原 全伸	理事･ロータリー財団	小松忠男
副幹事	久松哲生	理事･国際奉仕	小菅英司	直前会長	山下浩一
理事･S.A.A.	野田洋市	理事･青少年奉仕	鴨井利典	次期会長	岡本浩三
副S.A.A.	児島正典	理事･会員増強	竹本 千代子		

地区のスローガン 「こころの扉を開こう」

クラブのスローガン 「こころを一つに」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山　●例会日 毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
TEL(086)222-9590･222-0384 FAX(086)224-4288
E-mail : hokusei@ok6rc.jp http://okayama-hokusei-rc.jp

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

例会プログラム

内部卓話

「精神科の歴史」　　小　林　龍　平　会員

失礼いたします、本日卓話を披露するよう仰せつかりました、小林でございます。早いもので ロータリーに入会してから、1年9カ月が過ぎました。お時間もありませんので、早速お話しさせて いただきます。本日はスライドを使用させていただきます。

欧米の歴史）

1）原始時代～中世　病気とみなされなかったり、治療法がなく医療の対象にならなかった時代。
　原始時代:悪霊　　中世:悪魔払い　自然発生的な精神病治療のコロニーが生まれた。

2）ルネサンス～1930年頃　病気と認められたが有効な医療体系がなかった時代。
　15世紀、スペインのヴァレンシアで最初の精神病院が作られた。
　16～17世紀、魔女狩りに対する批判。
　18世紀末、フランス革命:
　1793、ピネル（仏）がパリのビセートル病院院長に就任。「精神病者の鎖からの解放」を行った。
　19世紀、各国で精神病患者から強制具を取り除く運動が起こった。

3）現代:治療法の発達した時代
　20世紀初頭:マラリア療法、けいれん療法、インスリンショック療法、持続睡眠療法、ロボトミーなど。
　第2次世界大戦:ナチスによる精神病患者と知的障害者虐殺。
　多大な努力と出費をかけて扶養される意味はないとされ27万人が命を奪われた。ナチスは「社会的逸脱者」と「社会的混乱の原因」を「生きるに値しない命」として迫害した。
　「社会的逸脱者」には、精神障碍者、身体障碍者、 政治的な反体制派、同性愛者、混血、犯罪者が該当した。
　「社会的混乱の原因」には、聖職者、共産主義者、ユダヤ人、ロマ、エホバの証人、有色人種（コーカソイド以外）、ポーランド人など様々な社会的グループの人々が該当した。戦後、人権思想の高まり。
　1950～:薬物療法の進歩。
　1960～:ケネディ教書（米）→　脱施設化・脱入院化

日本の精神科医療の歴史）

1）明治以前
　狐憑き、祟り→祈祷　岩倉大雲寺（京都）:コロニーが形成された。
　江戸時代:各地の寺院境内などに収容施設

2）明治時代～昭和初期
　1874（M07）、医制の発布。癲狂院設立の規定。ドイツ精神医学・大学精神医学を医学校に導入したが民間施設には至らず。
　1900（M33）、精神病者監護法:許可なしに精神病患者を監禁することが禁止された。しかし手続きで「私宅監置」が認められた。運用は警察。多くが自宅で監禁（患者15万人に対し病床は5千以下）。
　1919（T08）、精神病院法:公共の責任で精神病院を設立するよう定めたが予算がなく私立病院で代用。
　1938（S13）、厚生省設置

3）第2次大戦後
　1950（S25）、精神衛生法:私宅監置の廃止。都道府県の精神病院設置義務付け。
　措置入院と同意入院（保護義務者の同意による）、精神衛生鑑定医制度など。
　運用は警察から厚生省に。行動の制限は病院管理者の裁量。（万成病院は昭和29年に開設。70床）
　1961（S36）、精神衛生法改正:生活保護者の一部が措置患者に移し変えられることがあり、措置患者、指定病院も増加し病床が急増。昭和30年の約4万床が昭和49年には約26万床に。
　1964（S39）、ライシャワー事件:通院治療や社会復帰対策などの医療体系充実を目指す方針。
　1965（S40）、精神衛生法改正:都道府県に精神衛生センター設置。
　地方精神衛生審議会の設置、通院医療費公費負担制度、警察官による通報制度の強化など。

　1984（S59）、宇都宮病院事件:入院患者が看護職員から暴行を受け死亡。
　医療従事者の不足、超過収容、無資格診療、事故死多発など発覚。347人取り調べ院長はじめ9人逮捕・送検され被疑者は延べ111人、17の罪名で立件。
　1）看護職員による入院患者殺人
　2）無資格者による検査・診療
　3）極端な医師・看護不足
　4）患者使役
　5）通信・面会の自由剥奪

6）不必要な強制入院
7）不正経理（患者からの預かり金3300万円の不足。看護料不正請求。1億円の有印私文書偽造、公使、詐欺。）
8）認可なく施設を病棟として使用
9）死体解剖保存法違反
10）2億円の所得隠し　など。

1993～97（H5～9）、大和川病院事件
1963年、安田病院開設。
1969年、逃げ出そうとした31才の男性患者を看護人3人がバットで殴るなど暴行し死亡させた。この事実を隠し死因を「急性心不全」とし、遺族に患者の遺体を見せなかった。内部告発によって明るみに出て看護人に実刑判決。同年、大和川病院に改名。
1979年、未成年の無資格看護人3人が男性患者に対して、数時間にわたり暴行を加え殺害。これら事件にもかかわらず、行政による改善措置は形だけのものにとどまっていた。1993年、何者かから暴行を受け適切な治療がなされないまま放置された患者が転院先の病院で死亡。遺族が大阪精神医療人権センター（当時・任意団体、現在・NPO法人）に相談。センターによる調査・告発。しかし大阪府への質問状は放置された（有効な権利擁護システムが存在していなかったことを示している）。1997年3月、大阪府が大和川病院等に対する本格的な調査を開始。同年廃院確定。

1988（S63）、精神保健法施行
入院時の告知、定期病状報告、患者の退院・処遇改善請求及びそれを審査する第三者機関である精神医療審査会制度などの創設。任意入院（22条）　医療保護入院、応急入院（33条）　措置入院（29条）精神保健指定医制度（患者の人権制限に関する事項を行う）

1999（H11）、精神保健福祉法改正
精神医療審査会の調査権限を強化、指定医の診療録記載義務を職務全般に拡充移送の問題（34条）　など。人権制限への法的な規制、第三者による監視。
精神衛生法　→　精神保健法　→　精神保健福祉法
医療サイドの権力濫用への規制と監視機能の強化が行われてきている。

今年、兵庫県で神出病院でも患者への虐待が発生しております。その他、様々な施設にて虐待の発生も頻発しております。当院では職員に日頃から口がすっぱくなるほど注意喚起を行っています。しかし虐待を擁護するわけではありませんが、患者様からの暴力によって職員の労災事故が年間数十件発生しており、報告があがっていない軽微なものも含めるとさらに数は増えます。この事実も皆さんに知っておいていただきと思います。
ご清聴ありがとうございました。

前回９月14日の例会記録

出席の状況

会 員 数　46名（内出席免除者　０名）　　出席者数　34名
欠席者数　12名　　出 席 率　73.91％
欠 席 者　藤木，福元，入江，楠，三宅，森本，奥田，大饗，田原，氏房，山田，横山

会 長 報 告

会 長　平 松　　信

新入会員の与田卓士（よだ　たくお）様の承認がなされましたことにつきまして、竹本千代子会員増強委員長、そして推薦者の高橋峯男会員、川西熊雄会員に深く感謝申し上げます。
9月8日㈫と13日㈰に岡山県医師会において、新型コロナウイルス感染について2回の会合が開催され、岡山県の則安俊昭保健福祉部参与と西嶋康浩保険福祉部長から、新型コロナウイルス感染症対策に係る岡山県の対応についてご教授いただきました。
岡山県では、⑴ 一般電話相談 ： 県民からの不安など一般的な相談を、専用の電話相談窓口を設置し対応しています。⑵ 新型コロナウイルス受診相談センター:感染の疑いがある方を診療体制等の整った医療機関につなぐための調整をおこなっています。⑶ PCR検査体制:県環境保健センターでPCR検査を実施するとともに、民間検査機関や医療機関、大学等においてもPCR検査を実施しており、引き続き検査体制の強化に努めています。⑷ 医療体制：①新型コロナウイルス受診相談センターから紹介された感染の疑いがある方の診察等を行っている医療機関 ②入院病床 ③宿泊療養施設 などの医療体制の確保をしています。
その結果、9月13日現在の岡山県の新型コロナウイルス感染の累計患者数は146人、現在感染者数は0人、死亡者数は1人、退院者数145人となっています。
重症化しやすい患者背景は、男性、高年齢、喫煙歴で、重症度別の症状は軽症（発熱、乾いた咳、頭痛、下

痢など)、中等症(呼吸不全など)、重症(重症呼吸不全、腎不全、心不全、肝不全、血栓形成など)となり、それぞれの段階で治療法が異なっています。

感染率、死亡率の高いことが知られている透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数(9月11日午前8時時点)は、全国で243人、死亡者数33人ですが、中国・四国地区においては感染者数1人、死亡者数0人と、他の地区と比べて少ない状況です。

このように、岡山県ではこの10日間の新規感染者はなく、感染の第2波が収まりつつあると予測されていますが、まだまだ今後もさらなる対策が必要となると考えられます。

たとえば、インフルエンザの流行の季節になりますと、新型コロナウイルスとの合わせた対応が課題となっています。今まで冬であったオーストラリアでは、インフルエンザの発症が抑えられているとのことで、日本でもインフルエンザのワクチン接種は、10月1日から65歳以上の高齢者を中心に、10月26日以降はすべての対象者に接種が可能となります。

ロータリークラブの活動も慎重に考慮していきたいと思いますが、9月28日の月見夜間例会は、会員の皆様にこころの中で手と手つないで、有意義な例会にしていただきますようお願い申し上げます。

幹事報告

幹事　鈴木一生

① 先週、月見夜間例会のご案内をメールまたはＦＡＸにてお送りいたしましたので、よろしくお願いいたします。

② 本日例会終了後13:30より、3F「トパーズの間」において、「第9回創立30周年記念事業実行委員会」が開催されますので、実行委員会の皆様はよろしくお願いいたします。

③ 本日の卓話の資料、社会奉仕委員会の活動情報を配付しております。

④ 他クラブ週報を回覧いたします。

スマイル報告

平松会長：与田卓士新入会員の入会に心から感謝申し上げます。
各委員会、同好会におかれましては、熱心なご活躍をありがとうございます。本日は小林龍平会員の内部卓話「精神科の歴史」を聴かせていただくのを楽しみにしています。

鈴木幹事：本日は、ゴルフもお話しも上手な小林会員の卓話、とても楽しみにしております。

小林会員：本日は、内部卓話をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

相原会員：小林さん、本日の内部卓話楽しみにしております。

野田会員：若手のホープである小林龍平会員の内部卓話を楽しみにしています。

久松会員：小林会員、本日の卓話宜しくお願いします。時間はたっぷりありますので思う存分使って下さい。余った時は質問タイムになりますので皆様も宜しくお願いいたします。

岡村会員：53回目の結婚記念日にお花を有難う!!

クラブ情報

7件 22,400円（累計 208,400円）

社会奉仕委員会の活動報告

社会奉仕委員長　原　全伸

※別紙にて社会奉仕員会の活動報告、裏面にあした彩の活動報告書を配布して報告。
なお、下記に資料の補足をさせていただきます。

② あした彩
新型コロナの影響で各校とも学内立入りやサークル活動の制限などで手探りの状況が続いていますが、オンラインセミナーなどコロナ禍にあってもできる活動を考えています。一つ一つできることを学生たちと一緒に考え、支援していきましょう。

（裏面）あした彩の活動報告
夏休み中にも関わらず学生が企画した講演会です。紙芝居「まおちゃんの新しい靴」は10月12日に卓話をいただく山陽学園大学の上地先生の指導により作成されました。

配付資料<あした彩の活動報告書>▶

例会情報

本日のメニュー（９月28日）月見夜間例会特別メニュー
次回のメニュー（10月５日(ヘルシーランチ)）
井　物　鰯照焼丼　番茶御飯　刻み葱　針生姜　胡麻
小　鉢　胡瓜　若芽　焼薄揚げ　蒸し鶏
赤出汁　豆腐　玉葱　刻み葱　粉山椒
香　物　白菜レモン　青しそ広島菜　黒糖良京
コーヒー

前回メニュー(9月14日)：
真鯛と木の実ときのこのロースト ほうれん草のソース

会報部会／小林　龍平・駒井　孝宏